

事業所名

littleデジ-

支援プログラム

作成日

R7

年

2

月

12

日

法人（事業所）理念	全ての子どもに、平和と希望のある未来を創造する									
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・どの子どもも等しく、日常を安全で楽しく健やかに過ごせる事業所 ・安心して自己発揮し、自己実現に繋がられる事業所 ・他者から愛され、大切にされる喜びを感じられる事業所 ・自他を認め合い、思いやりの心、好奇心や探求心が育っていく事業所 									
営業時間	9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康状態を学校やご家庭と連絡を取り合い、睡眠・食事・排泄等の状況を把握し、顔色や服装・メンタル面等の小さなサインを見逃さないよう健康観察を行う。（検温等） 個々の発達段階や生活環境を鑑み、飲食への配慮や清潔にすることの大切さ等のスキルの向上を目指していく。								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・公園での全身運動 ・バランスボール、トランポリン、木馬等を使った体幹トレーニングを通し、姿勢保持や筋力強化を図ります。 ・ミュージックケアを通して音楽に合わせて体をゆったり動かしたりマッサージしたりすることで楽しく感覚トレーニングを行うとともに、情操を豊かにします。 ・毎月の製作や感覚遊び（砂、粘土、水遊び等）を行い五感を使った支援を行います。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知機能トレーニングの教材を使い、認知機能の強化を目指します ・ビジョントレーニングを通して、情報を鮮明に見る＝「感覚機能」、情報を正確に集める＝「運動機能」、脳と連携して情報を処理する＝「情報処理機能」を高めます ・SSTを通して、社会適応に向けた訓練を行います。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会で、毎回その日の振り返りを行い、全員の前で発表する経験をし、全員の前で絵本を読んだり、フラッシュカードをめくるなどし、集団の前で表現する経験を積みま。 ・プリント教材を使用し、読み書きのスキル獲得に向けた支援をします ・かるた、フラッシュカードを使って文字や単語への関心を深めます ・言葉以外の身振りサイン、筆談等のコミュニケーションスキルの獲得（緘黙症の児童への支援方法） 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館・美術館や図書館、動物園等への外出活動を通して、実際に公共の場を利用しそこでの挨拶の仕方や身の振り方等のマナーを身に付けられるよう支援します。 ・ごっこ遊び（ままごと、電車、お店やさんごっこ等）を通して、他児とのやりとりを経験し、実践的なコミュニケーション能力を養います。 ・事業所内の小集団の中で、生活や活動のルールについて知り、それを守るとともに、道徳心を育み身につけるべきマナーも獲得出来るよう支援しています 								
家族支援	HUGシステムを利用して、家庭と事業所間でやりとりを行い、うまくいった例を紹介したり、困った事例についてご相談を受けるなどしてます。 事業所への相談窓口を設け、営業時間内に随時お電話などでお子様に関するご相談を受け付けたり、ペアレントトレーニングを実施しています。				移行支援		就学、進学、サービス移行のサポート： マイシートを作成し、関係機関と連携して安心して移行出来るようサポートします。			
地域支援・地域連携	ハロウィン道ジュネーを通し、近隣の自治会や事業所などと関わる機会をもち、地域に参入しています。 地域が開催する催し物に積極的に参加し、社会性の基盤を培うとともに、併せて児童らの特性が地域に理解される機会を作ります。				職員の質の向上		顧問のコンサル会社から毎月法定研修を受ける時間を設け、資質向上を目指します。 毎月職務会を開催し、提供する支援の質を向上させる為、また共通認識をもって支援に当たれるようにする為、全員で話し合う機会を作っています。			
主な行事等	季節の行事：豆まき（2月）、春の遠足（春休み期間中に数回）、夏の遠足（夏休み期間中に数回）、ハロウィン道ジュネー 毎月、若しくは随時開催する行事：お誕生会、避難訓練、 保護者参加型行事：家族会（保護者向け※1回/年）、クリスマスお楽しみ会（保護者観覧※1回/年）									